

ピーター・スミス氏の人間関係図

Peter Smith
(ピーター・スミス)



ピーター・スミス・テニス・アカデミーのディレクター。TCA(TennisCoach Australia) LEVEL3マスター・コーチ資格者（ツアープロの指導ができる数少ない有資格者）で、40年のプロ・テニス・コーチとしての経験がある。2000年、オーストラリア・スポーツ・メダル受賞。障害者のためのテニス指導活動も行っている。きめ細やかな技術指導と、生徒とのふれあいを大切にする、人間味あふれる指導は、周りから多くの信頼と尊敬を集めている。

尊敬・今も良き相談者

情熱を持って育てたプレーヤー達

信頼

6歳～17歳指導

彼は技術を学ぶ上で最高のコーチだった。昔から常に、誰をコーチしていようと、彼はその選手を心から思っている

ピーター・スミスの家に住む

Darren Cahill
(ダーレン・ケーヒル)



89年シングルス最高22位、89年ダブルス10位。USオープンファイナリスト。デビスカップメンバー。ヒューイット、アガシ、ベルダスコ、11年～ハンチコワのツアーコーチ、ESPNのテニスアナリストなども務める。

Peter Carter
(ピーター・カーター)



87年シングルス173位、86年ダブルス117位。子供時代はピーターの家で過ごし、テニスを学ぶ。スイスでのコーチング時代に少年のフェデラーと出会い指導。(10～18歳)スイスのデビスカップ監督などもつとめる。2001-2002年に交通事故死。

John Fitzgerald
(ジョン・フィッツジェラルド)



88年シングルス最高25位、91年ダブルス1位。01～10年までオーストラリアのデビスカップTeamのキャプテン。03年優勝。少年時代にPeterSmith氏の自宅にステイしながらトレーニング。2001-2010年デビスカップ監督。

Roger Rasheed
(ロジャー・ラシード)



92年シングルス最高192位、ダブルス134位。03年～07年ヒューイットの、09～11年モンフィス、12～13年ツォンガ、13-15年ディミトロフのツアーコーチ。

Lleyton Hewitt
(レイトン・ヒューイット)



98年16歳でプロに転向。99年ATPツアー初優勝。2001-2002年世界ランキング1位。01年USオープン、02年ウィンブルドンチャンピオン、05年全豪準優勝。ATPツアー通算30勝。2016年引退。2017年～デビスカップ監督就任。

Luke Smith
(ルーク・スミス) 大谷敦(オオガイアツシ)



ダブルスパートナー

PeterSmith氏の次男で、テニス・アカデミーのヘッド・コーチ。ジュニア時代から、父親の指導を受け、全米カレッジ・チャンピオンシップ、シングルス、ダブルス共に優勝。オーストラリア、デビス・カップの候補選手としても指名された。ジュニア時代は、**Lleyton Hewitt**のダブルス・パートナー。2017年サウスオーストラリア州レジェンドコーチ殿堂入。

南オーストラリア州LEVEL2の資格を持つ、アデレード在住のアドバンスプロ・コーチ。東京で、Ken Rosewall(オーストラリアの有名プロ・テニス・プレイヤー)のアシスタント・コーチを務め、その後、渡豪。ブリスベン、シドニーにて、プロのテニス・コーチとしての経験を積み、2002年4月にアデレードへ移住した。**The Peter Smith Tennis Academy**にて、日本人のためのアカデミー・プログラムをはじめる

Academy staff

10～18歳のコーチ

尊敬する指導者「ピーターは私の最初のコーチではありませんでしたが、彼は私の本当のコーチでした。」

Roger Federer



02年～ヒューイットの後ツアーコーチ

DarrenCahillの後のコーチ

ピーター・スミスの後～01年のランキング1位までのコーチ

Andre Agashi



ピーターについて言えるのは、彼のコーチング・システムを通り抜けたものは皆、そろって素晴らしい技術を擁している、ということだ。